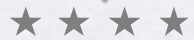

MYSQL

DBの基本 #8



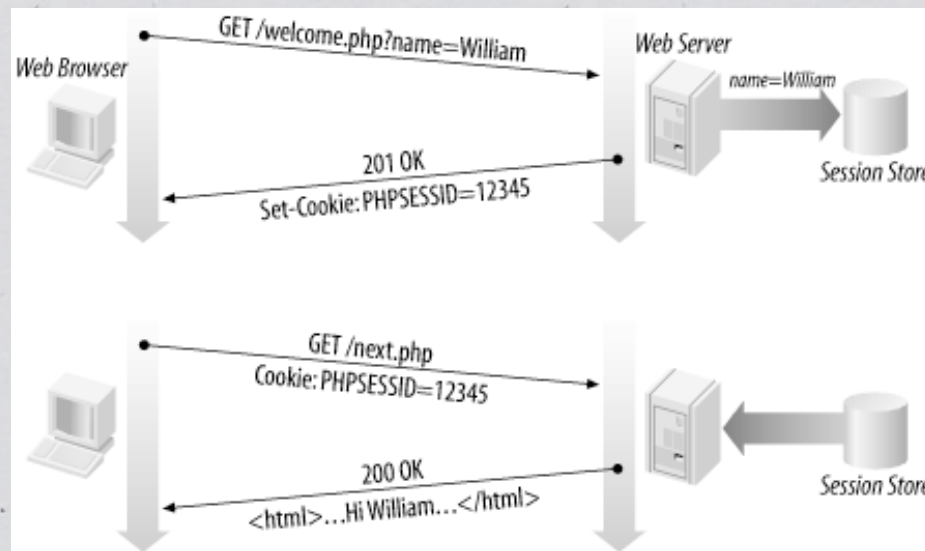
セッションを利用する

- セッション(SESSION)とは
ユーザが複数のページ間で共有できる変数を持つ仕組みのこと。

自分で正確に実装しようとする、通常は数百行はコードを書く必要がある。PHPでは数行で利用できる。

簡単な仕組みの説明

- (1) ブラウザ側のCookieにSessionIDを保存
- (2) サーバ側でSessionIDに応じて変数を保存
- (3) 再接続時に、ブラウザからSessionIDを読み取る
- (4) SessionIDに応じた変数(値)を取り出す



簡易アクセスカウンタ

```
<?php
```

```
session_start();
```

```
if (isset($_SESSION["count"])) {  
    $_SESSION["count"]++;  
} else {  
    $_SESSION["count"] = 1;  
}
```

```
echo $_SESSION["count"] . "回目のアクセスです。";
```

```
?>
```

```
bool isset ( mixed $var [, mixed $... ] )
```

変数がセットされており、それが NULL でないことを調べる。

変数が、`unset()` により割当を解除された場合、何も値が設定されていない状態になる。

NULLに設定されている変数を調べた場合、**isset()** はFALSEを返す。

NULLバイト("\0")はPHPの定数 NULLと等価ではないことにも注意。

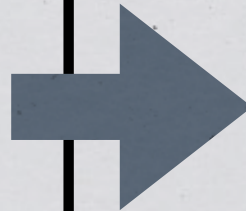
複数のパラメータを渡した場合は、**isset()** はそれらすべてがセットされている場合にのみ TRUE を返す。左から順に評価を行い、セットされていない変数があった時点で処理を終了する。

sessioの利用

a.php

```
<?php
    session_start();
?>
!DOCTYPE ...
    :

<?php
    $_SESSION['var']=10;
    :
```



b.php

```
<?php
    session_start();
?>
!DOCTYPE ...
    :

<?php
    echo $_SESSION['var'];
    :
```


sessionで利用方法

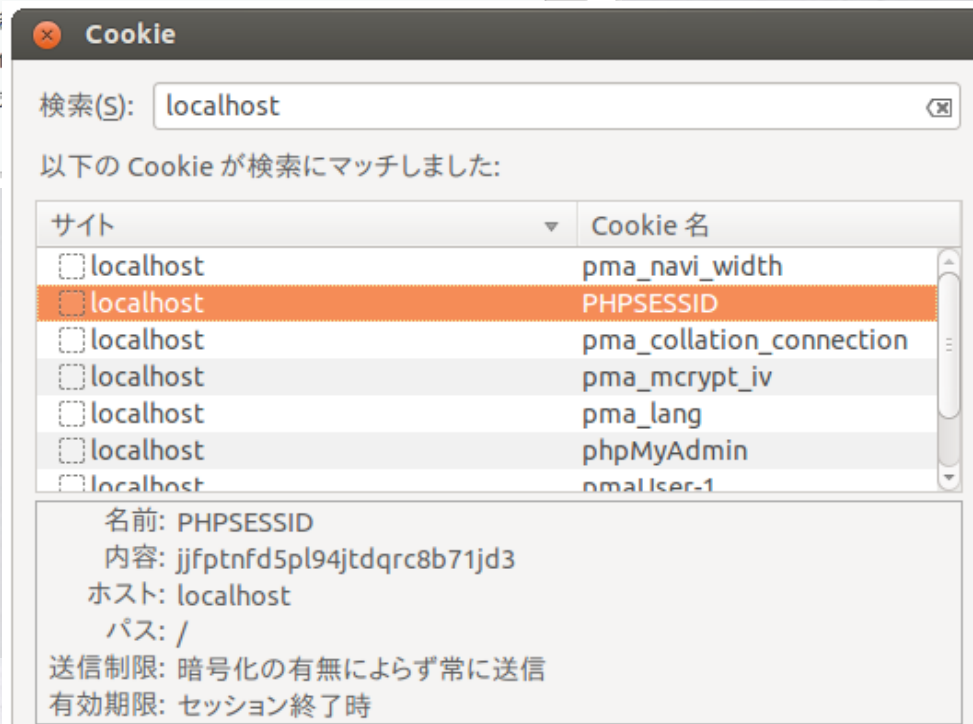
- <http://php.net/manual/ja/book.session.php>

```
session_start();          // 出力前に実行するのが望ましい
:
$_SESSION['文字列']       // 保存・読出しで利用 $_POSTと同様
```

- 終了時(ログアウト等)の処理 (一般的な手法)

```
$_SESSION=array();        // セッション変数を破棄 unset()でも可
if(isset($_COOKIE[session_name()])){
    setcookie(session_name(),' ',time()-3600,'/');
} // クッキーのセッションIDを破棄
session_destroy();         // セッションを破棄
```

実際のクッキーの値



課題 `sql08/login.php`

- DBを用意する。(手作業でOK)
 - テーブルuserを作成する。
 - あらかじめ、3名分のユーザを作成する。
- formからid・パスワードを入力する。
 - セッションでチェック(ログイン済みか?)
 - ログイン画面→DB(user)でチェック
 - ログインの状態(成否)を、sessionで記録する。
 - OKならheader()でlogin_ok.phpへ移動
NGなら再度login.phpへ

課題 sql08/login.php

- login_ok.phpでは、
ログインの状況を確認する。
ログインしている→IDとユーザ名を表示する。
していない→ログインしていないメッセージを表示する。

id	varchar(10)
name	varchar(10)
pass	varchar(10)

id	name	pass
tri001	吉村 賢	zxc123
tri002	(ご自由に)	(ご自由に)
tri003	(ご自由に)	(ご自由に)